

自主創造の基礎 2

責任者名：三澤 麻衣子(医療人間科学 専任講師)

学期：後期

対象学年：1年

授業形式等：演習

◆担当教員

日本大学ワールド・カフェ (N-MIX) を10月11日(日)に行う。予備日は10月18日(日)。第5回、第6回の授業に相当する。

三澤 麻衣子(医療人間科学 専任講師)

山岡 大(基礎自然科学分野(物理) 教授)

佐藤 紀子(健康科学 准教授)

渡辺 孝康(基礎自然科学分野(化学) 助教)

土屋 睦廣(医療人間科学 兼任講師)

尾崎 哲則(医療人間科学 教授)

近藤 太郎(医療人間科学 兼任講師)

中島 一郎(医療人間科学 教授)

飯沼 利光(歯科補綴学Ⅰ 教授)

安田 裕康(歯科補綴学Ⅱ 助教)

小森谷 康司(歯科保存学Ⅰ 助教)

安川 拓也(歯科保存学Ⅱ 助教)

菅野 直之(歯科保存学Ⅲ 准教授)

中山 潤利(摂食機能療法学 准教授)

上原 任(医療人間科学 専任講師)

山口 洋子(生化学 助教)

掛谷 昌宏(歯科理工学 専任講師)

鈴木 秀則(基礎自然科学分野(物理) 助教)

小林 理美(基礎自然科学分野(生物) 助手)

◆一般目標 (GIO)

「自主創造の基礎1」で身につけた学修能力・スキルを活用し、事象を認識して問題を解決することができる。

◆到達目標 (SBOs)

1. 論理的・批判的思考力：取り組む問題や事象を提示し、客観的な情報をもとに論理的・批判的に考察できる。
2. 問題発見・解決力：取り組むべき問題や事象について、複数の解決策を提示することができる。
3. 挑戦力：見出した問題や事象に対して、新しいことに挑戦する気持ちを持つことができる。
4. コミュニケーション力：多様な人に理解されるように意思を伝達することができる。
5. 省察力：自己の学修経験に対して継続的に振り返りを行うことができる。

◆評価方法

各演習におけるプロダクトを課題設定、問題探求、成果のまとめ等を総合的に判断して評価を行う(50%)。加え

て、事前および事後課題（50%）を成績評価対象とし、最終評価は評価基礎点に基づき、成績評価表示（S、A、B、C）で判定する。

日本大学教育憲章にある項目を、以下の授業回で評価する。

論理的・批判的思考力・・・第11回、第12回、第13回、第14回

問題発見・解決力・・・第11回、第12回、第13回、第14回、第15回

挑戦力・・・第5回、第6回、第11回、第12回、第13回、第14回

コミュニケーション力・・・第5回、第6回、第11回、第12回、第13回、第14回

A-8：省察力・・・第7回、第14回、第15回

全時間の出席が前提であり、欠席した場合は所定の手続きを取り補完授業を受けること。無断欠席は大幅な減点の対象とする。また、提出物の未提出・演習への参加態度不良は大幅な減点の対象とする。

なお、各授業回におけるプロダクトや課題により各自の到達度を確認するとともに、到達度に応じた教員によるフィードバックを授業内または本教科サイト内において適宜行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
三澤 麻衣子	火曜日 12:00～13:00・医療人間科学教室（3号館3階）	oshikawa.maiko@nihon-u.ac.jp	事前にメールでアポイントをとること
山岡 大	月曜日 12:00～13:00・物理学教授室（3号館4階）	yamaoka.masaru@nihon-u.ac.jp	事前にメールでアポイントをとること
佐藤 紀子	金曜日 17:00～18:00・健康科学分野研究室（3号館・3階）	sato.noriko@nihon-u.ac.jp	事前にメールでアポイントをとること
渡辺 孝康	火曜日 12:00～13:00 化学研究室（3号館5階）	watanabe.takayasu@nihon-u.ac.jp	事前にメールでアポイントをとること
土屋 睦廣	授業終了後に質問を受け付ける		授業終了後以外で連絡を取りたい場合は三澤にメールで相談をすること
尾崎 哲則	月曜日 17:00～18:00・医療人間科学教授室（3号館7階）	ozaki.tetsunori@nihon-u.ac.jp	事前にメールでアポイントをとること
近藤 太郎	授業終了後に質問を受け付ける		授業終了後以外で連絡を取りたい場合は三澤にメールで相談をすること
中島 一郎	月曜日 17:00～18:00・医療人間科学教授室（3号館7階）	nakajima.ichirou@nihon-u.ac.jp	事前にメールでアポイントをとること
飯沼 利光	水曜日 17:00～18:00・歯科補綴学第I講座医局（本館5階）	iinuma.toshimitsu@nihon-u.ac.jp	事前にメールでアポイントをとること

--	--	--	--

◆授業の方法

各演習回に設定したプロダクトや課題を行うことで、「自主創造の基礎1」で身につけた学修能力・スキルを活用し、大学生および社会人、医療人としてよりよい問題解決を行えるよう能力を育成する。

日本大学ワールド・カフェ（N-MIX）に参加し、他学部の学生との交流を持つ。

将来の歯科医師としての自己の在り方を考察する。

課題を行いながら、課題を設定・探求し、よりよいプレゼンテーションを模索する。

◆アクティブ・ラーニング

演習を行う際に、事前または事後課題を出し、深い演習が行える環境をつくる。また、学修課題を行いながら、自己研鑽の必要性を認識できるよう課題の振り返りも授業内で行う。自主創造の基礎1で得られた学修スキルを基に、より「創造」性ある作成物の完成につなげる。

加えて、本学部は歯科医師の養成機関であるため、本教科においても、歯科医師という職業に対する理解を深め、自らの歯科医師像を確立することを演習に取り入れている。専門知識がない初年次においても、医療者となる自覚が高い学生を育成するため、医療に関わる様々な分野の専門性の高い教員による話を聞く機会を設けている。

【実務経験】

土屋 睦廣；日本大学文理学部准教授。哲学と倫理学の専門家としての経験から、歯科医師として、そして社会人としての在り方・生き方を示していきます。（歯科医師として、そして社会人としての在り方・生き方を考える）

近藤 太郎；東京都医師会顧問。地域医療の現場で、ながらく歯科と医療連携を行ってきた医師の立場から、今後の歯科のあり方について話していきます。（チーム医療）

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	ミライツクル Learning Guide	企画・編集 全学 FD 委員会教育情報 マネジメントワーキ ンググループ	日本大学FD推進セ ンター	2020
参考書	授業時に紹介することがある。			

◆DP・CP

DP 5

コンピテンス：挑戦力

コンピテンシー：新たな課題の解決策を見い出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

DP 6

コンピテンス：コミュニケーション力

コンピテンシー：医療をはじめとする様々な場面において、他者との円滑な意思の疎通を行い、互いに価値観を共有し、適切なコミュニケーションを実践して自らの考えを発信することができる。

CP 5

研究で明らかとなる新たな知見と研究マインドをもとに、歯科医学の課題に挑戦する学生を育成する。

他者の意見を尊重し、明確な意思疎通のもと、円滑な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

演習内容に関連する新聞記事や本を読んでおくと理解が深まる。

演習を行うにあたり、事前または事後課題を出す。事前または事後課題を行うことで、その後の演習内容の深い理解につなげてほしい。

◆準備学習時間

授業時間半分相当を充てて予習あるいは復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

自主創造の基礎1 (第1学年前期)

情報科学演習 (第1学年前期)

◆予定表

第5回, 第6回は日本大学ワールド・カフェ (N-Mix) に相当します。

開催場所などの情報を後日指示しますが、10月11日(日)の予定を空けて、必ず参加すること。

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		9.8	2	1. スタートアップ 1) 本教科の意義 〈全学共通内容； 第1回〉	・本教科の意義を説明できる。 ・PBL学習を実践することの意義を説明できる。	三澤 麻衣子 9月8日	A-9-1) 生涯学習への準備
1		9.8	3	1. スタートアップ 2) 日本大学ワールド・カフェの意義	・日本大学ワールド・カフェの意義、行動目標を説明できる。 ・ワールド・カフェ実施の手順を説明できる。	三澤 麻衣子 9月8日	A-9-1) 生涯学習への準備
2		9.15	2	2. 歯科医師として、そして社会人としての在り方・生き方を考える 1) 現代の医療・科学技術と倫理	・現代の医療をめぐる倫理的問題を述べることができる。	土屋 睦廣 9月15日	A-1-1) 医の倫理と生命倫理
2		9.15	3	2. 歯科医師として、そして社会人としての在り方・生き方を考える 2) 新たな人間観・	・人間観・健康観を主体的に考察できる。	土屋 睦廣 9月15日	A-1-1) 医の倫理と生命倫理

				健康観に向けて			
3		9.29	2	3. チーム医療 1) 医師との連携 【講演；医師】 〈全学共通内容； 第 13, 14 回〉	・医療全体での歯科医療の位置づけについて説明できる。 ・医科からみた歯科医療の在り方について述べるができる。	尾崎 哲則 近藤 太郎 9月29日	A-5-1) 患者 中心のチーム 医療
3		9.29	3	3. チーム医療 2) 医師との連携 【対談；歯科医師 と医師】 〈全学共通内容； 第 13, 14 回〉	・現在の医療現場における医科歯科 連携について述べるができる。	尾崎 哲則 近藤 太郎 9月29日	A-5-1) 患者 中心のチーム 医療
4		10.6	2	4. チーム医療 1) 歯科衛生士との 連携	・歯科衛生士の法的, 社会的位置づ けについて説明できる。 ・歯科衛生士と歯科医師の業務分担 について説明できる。	尾崎 哲則 10月6日	A-5-1) 患者 中心のチーム 医療
4		10.6	3	4. チーム医療 2) 歯科衛生士との 連携【講演；歯科 衛生士】 〈全学共通内容； 第 13, 14 回〉	・実際の歯科衛生士業務の多様性に ついて説明できる。	尾崎 哲則 10月6日	A-5-1) 患者 中心のチーム 医療
5 , 6		10.11	1 ～ 7	5. 日本大学ワー ルド・カフェ 1) 他学部との交流 〈全学共通内容； 第 6, 7 回〉 *日曜日 (10/11)	・論理的・批判的思考力：チーム内 で取り組むべき問題や事象を提示で きる。 ・挑戦力：新しいことに挑戦する気 持ちをもってチーム内で積極的にデ ィスカッションができる。 ・コミュニケーション力：多様な学 生に対し, 自分の考えを分かりやす く伝えることができる。 ・コミュニケーション力：多様な学 生の意見を傾聴して, その内容を正 しく理解することができる。 ・コミュニケーション力：他者の話 を聴いて興味を持ったことに対し て, 開いた質問をすることができる。	三澤 麻衣 子 10月11日 (N-Mix)	

					<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション力：非言語コミュニケーションの大切さを意識して意思の伝達ができる。 ・リーダーシップ・協働力：他者の意見を聴き、多様な考え方を認めることができる。 ・リーダーシップ・協働力：討議において、相違点をすり合わせ、合意形成を進めることができる。 		
7		10.13	2	5. 日本大学ワールド・カフェ 2) 成果の共有 〈全学共通内容；第8回〉	・ワールド・カフェの成果を共有することができる。	渡辺 孝康 10月13日	A-2-1) 課題探求・解決能力
7		10.13	3	5. 日本大学ワールド・カフェ 3) 振り返り 〈全学共通内容；第8回〉	・省察力：自己の学修経験に対して継続的に振り返りを行うことができる。	渡辺 孝康 10月13日	A-2-1) 課題探求・解決能力
8		10.20	2	6. 社会貢献 1) 国際協力	・今日の健康格差・医療格差の問題が、国際協力の課題であること、そして、それに対する医療従事者としての取り組みについて説明できる。	中島 一郎 10月20日	A-7-2) 国際医療への貢献
8		10.20	3	6. 社会貢献 2) ボランティアとは	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの概要について説明できる。 ・ボランティア活動の現状について具体的に述べることができる。 ・スポーツ・ボランティアの概要を説明できる。 ・自身の能力を用いて、どう社会に貢献できるのかを示すことができる。 	佐藤 紀子 10月20日	A-2-1) 課題探求・解決能力
9		10.27	2	7. 歯科と超高齢社会 1) 超高齢社会とは	・超高齢社会となった日本の現状を説明できる。	飯沼 利光 10月27日	A-5-1) 患者中心のチーム医療
9		10.27	3	7. 歯科と超高齢社会	・医歯一元論に基づき、健康寿命の延伸に口腔が担う働きを述べること	飯沼 利光 10月27日	A-5-1) 患者中心のチーム

				2) 超高齢社会における歯科医師の役割	ができる。		医療
10		11.10	2	8. 多様なニーズのある人々 1) 多様性 2) 多様なニーズ	・多様性, 様々なちがい (性別, 年齢, 文化や国籍, 心身機能, 性的指向, 宗教・信条, 価値観, 経験, ライフスタイル等) のある人々について, 具体的な例を挙げることができる。 ・ダイバーシティについて説明できる。 ・多様なニーズについて想像し, 対応することができる。	佐藤 紀子 11月10日	A-2-1) 課題探求・解決能力
10		11.10	3	8. 多様なニーズのある人々 3) バリアフリー 4) ユニバーサルデザイン	・バリア (障壁) を理解し, それをなくす方法を説明できる。 ・多様なニーズとそれに対する工夫や配慮について, 具体的な例を挙げて説明できる。	佐藤 紀子 11月10日	A-2-1) 課題探求・解決能力
11		11.17	2	9. 理想とする歯科医院をつくる 1) テーマの決定 〈全学共通内容; 第2回, 第9回〉	・挑戦力: 新しいことに挑戦する気持ちをもって積極的に取り組むことができる。 ・コミュニケーション力: 多様な人を想定し, 自分の考えを分かりやすく伝えることを考える。	三澤 麻衣子 11月17日	A-2-1) 課題探求・解決能力
11		11.17	3	9. 理想とする歯科医院をつくる 2) 疑問点の洗い出し 〈全学共通内容; 第2回, 第9回〉	・論理的・批判的思考力: 取り組むべき問題や事象を提示できる。 ・問題発見・解決力: 取り組むべき問題や現象の現状とあるべき姿のギャップを認識できる。	三澤 麻衣子 11月17日	A-2-1) 課題探求・解決能力
12		11.24	2	9. 理想とする歯科医院をつくる 3) 立地・外観・設備などハード面に関して; 調査, 情報収集 〈全学共通内容; 第3回, 第10回〉	・論理的・批判的思考力: 理想とする歯科医院の立地・外観・設備などハード面に関して, 客観的な情報を収集できる。 ・論理的・批判的思考力: 収集した情報をもとに, 取り組むべき問題や事象を論理的に考察できる。 ・問題発見・解決力: 取り組むべき	渡辺 孝康 11月24日	A-2-2) 学修の在り方

					<p>問題や事象に関して、客観的な情報を提示できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題発見・解決力：取り組むべき問題を明らかにできる。 ・問題発見・解決力：取り組むべき問題に対し、解決方法を複数提示し説明することができる。 ・挑戦力：新しいことに挑戦する気持ちをもって積極的に取り組むことができる。 ・挑戦力：見出した問題や事象に対して果敢にチャレンジする姿勢を持つことができる。 ・コミュニケーション力：人の多様性を意識し、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 		
12		11.24	3	<p>9. 理想とする歯科医院をつくる</p> <p>4) 立地・外観・設備などハード面に関して；プレゼンテーション作成 〈全学共通内容；第4回，第11回〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理想とする歯科医院の立地・外観・設備などハード面に関するプレゼンテーションを完成させることができる。 ・論理的・批判的思考力：収集した情報をもとに，取り組むべき問題や事象を論理的に考察できる。 ・挑戦力：探究心をもって，プレゼンテーションの内容を準備できる。 	渡辺 孝康 11月24日	A-2-2) 学修の在り方
13		12.1	2	<p>9. 理想とする歯科医院をつくる</p> <p>5) スタッフ教育・診療技術などソフト面に関して；調査、情報収集 〈全学共通内容；第3回，第10回〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的思考力：理想とする歯科医院のスタッフ教育・診療技術などソフト面に関して，客観的な情報を収集できる。 ・論理的・批判的思考力：収集した情報をもとに，取り組むべき問題や事象を論理的に考察できる。 ・問題発見・解決力：取り組むべき問題や事象に関して，客観的な情報を提示できる。 ・問題発見・解決力：取り組むべき問題を明らかにできる。 ・問題発見・解決力：取り組むべき問題に対し，解決方法を複数提示し説明することができる。 ・挑戦力：新しいことに挑戦する気 	三澤 麻衣子 12月1日	A-2-2) 学修の在り方

					<p>持ちをもって積極的に取り組むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挑戦力：見出した問題や事象に対して果敢にチャレンジする姿勢を持つことができる。 ・コミュニケーション力：人の多様性を意識し、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 		
13		12.1	3	<p>9. 理想とする歯科医院をつくる</p> <p>6) スタッフ教育・診療技術などソフト面に関して；プレゼンテーション作成</p> <p>〈全学共通内容；第4回，第11回〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理想とする歯科医院のスタッフ教育・診療技術などソフト面に関するプレゼンテーションを完成させることができる。 ・論理的・批判的思考力：収集した情報をもとに，取り組むべき問題や事象を論理的に考察できる。 ・挑戦力：探究心をもって，プレゼンテーションの内容を準備できる。 	三澤 麻衣子 12月1日	A-2-2) 学修の在り方
14		12.8	2	<p>9. 理想とする歯科医院をつくる</p> <p>7) プレゼンテーション</p> <p>〈全学共通内容；第5回，第12回〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題発見・解決力：取り組むべき問題や事象に関して，客観的な情報を提示できる。 ・挑戦力：チャレンジする気持ちをもって，プレゼンテーションを行うことができる。 ・挑戦力：見出した問題や事象に対して果敢にチャレンジする姿勢を持つことができる。 ・コミュニケーション力：人の多様性を意識し，自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 	渡辺 孝康 12月8日	A-2-2) 学修の在り方
14		12.8	3	<p>9. 理想とする歯科医院をつくる</p> <p>8) フィードバック</p> <p>〈全学共通内容；第5回，第12回〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的思考力：他のプレゼンテーションの内容を鵜呑みにせず，批判的に考察できる。 ・省察力：自己の学修経験に対して継続的に振り返りを行うことができる。 	渡辺 孝康 12月8日	A-2-2) 学修の在り方
15		12.10	2	<p>10. 総括</p> <p>1) 本学でなにをすればよいか語れますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題発見・解決力：これまでの学修における自己の問題点を踏まえ，これからの計画を見直すことができる。 	三澤 麻衣子 12月10日	A-9-1) 生涯学習への準備

				<p>〈全学共通内容； 第 15 回〉 * 木曜日 (12/10)</p>			
15		12.10	3	<p>10. 総 括 2) 意識調査 〈全学共通内容； 第 15 回〉 * 木曜日 (12/10)</p>	<p>・省察力：これまでの学修について 振り返り，自己評価をすることが できる。</p>	<p>三澤 麻衣 子 12月10日</p>	<p>A-9-1) 生涯 学習への準備</p>

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
9月8日	852	山岡 大
	1339	佐藤 紀子
	1378	三澤 麻衣子
	3094	渡辺 孝康
	852	山岡 大
9月15日	1339	佐藤 紀子
	1378	三澤 麻衣子
	3094	渡辺 孝康
	1000082	土屋 睦廣
	852	山岡 大
9月29日	904	尾崎 哲則
	1339	佐藤 紀子
	1378	三澤 麻衣子
	3094	渡辺 孝康
	2000068	近藤 太郎
	852	山岡 大
10月6日	904	尾崎 哲則
	1339	佐藤 紀子
	1378	三澤 麻衣子
	3094	渡辺 孝康
	1291	上原 任
10月11日 (N-Mix)	3324	鈴木 秀則
	3437	小林 理美
	904	尾崎 哲則
	924	中島 一郎
	1339	佐藤 紀子
	1378	三澤 麻衣子
	3094	渡辺 孝康
10月13日	852	山岡 大
	1339	佐藤 紀子
	1378	三澤 麻衣子
	3094	渡辺 孝康
10月20日	852	山岡 大
	924	中島 一郎
	1339	佐藤 紀子
	1378	三澤 麻衣子
	3094	渡辺 孝康
10月27日	852	山岡 大
	1083	飯沼 利光

	1339	佐藤 紀子
	1378	三澤 麻衣子
	3094	渡辺 孝康
11月10日	852	山岡 大
	1339	佐藤 紀子
	1378	三澤 麻衣子
	3094	渡辺 孝康
11月17日	3324	鈴木 秀則
	852	山岡 大
	1339	佐藤 紀子
	1378	三澤 麻衣子
	3094	渡辺 孝康
11月24日	3324	鈴木 秀則
	852	山岡 大
	1339	佐藤 紀子
	1378	三澤 麻衣子
	3094	渡辺 孝康
12月1日	3324	鈴木 秀則
	852	山岡 大
	1339	佐藤 紀子
	1378	三澤 麻衣子
	3094	渡辺 孝康
12月8日	752	掛谷 昌宏
	1044	山口 洋子
	1065	菅野 直之
	1291	上原 任
	2157	中山 測利
	2968	安川 拓也
	2969	安田 裕康
	3098	小森谷 康司
	3324	鈴木 秀則
	3437	小林 理美
	852	山岡 大
	904	尾崎 哲則
	924	中島 一郎
	1339	佐藤 紀子
	1378	三澤 麻衣子
	3094	渡辺 孝康
12月10日	852	山岡 大
	1339	佐藤 紀子
	1378	三澤 麻衣子
	3094	渡辺 孝康

